

大井ホッケー競技場に係る後利用の方向性

都内有数の多目的人工芝競技場として、ホッケーその他の競技の拠点とする

大会後の利用方法

○ ホッケーの振興拠点

- ・ 国際基準を満たす数少ないホッケー競技場であり、ホッケーの国際大会をはじめとする主要大会の会場として活用する。
- ・ 都内でも数少ない公共のホッケー競技場の1つとして、企業や学校の練習場として活用するほか、成人やジュニアの主要大会の場として活用するなどしてホッケーの振興の拠点とする。

○ 各種競技の普及・強化の拠点

- ・ サッカー、フットサル、ラクロスなど様々なスポーツについて、幅広い利用が可能な多目的人工芝競技場として活用する。
- ・ 様々なスポーツを行うとともに、各種競技のスクールや体験イベントなどの会場とすることで、各種競技の普及・強化の拠点とする。

○ スポーツ施設と公園機能が融合した「総合的なスポーツ・レクリエーションの拠点」

- ・ ホッケー競技場だけでなく、大井ふ頭中央海浜公園内のスポーツ施設（テニスコート、陸上競技場、野球場など）や周辺の緑地等を含め、一体的な活用を検討することにより、公園全体としての魅力を高め、都民に親しまれ、賑わいのある「総合的なスポーツ・レクリエーションの拠点」としていく。

ホッケー競技場(イメージ)

※2012年ロンドン大会時の写真



様々なスポーツ利用(イメージ)



大会後の利用方法	想定する施設内容
○ ホッケーの振興拠点	1. 座席数：メインピッチ 約2,600席（競技大会時は10,000席） サブピッチ 536席（競技大会時は5,000席）
	2. 利用者の練習利用等のニーズに合わせて柔軟に対応できるよう、夜間照明の設置を検討
○ 各種競技の普及・強化の拠点	1. 様々なスポーツ利用が可能なグラウンドの整備 ：サッカー、ラグロスやフットサルなどの様々なスポーツ利用が可能となるよう、コート広さ、ラインや人工芝の種類等を検討
	2. 様々な競技の練習、競技大会やスクールの開催などに対応できるよう、必要な用具・器具庫等の整備を検討
○ スポーツ施設と公園機能が融合した「総合的なスポーツ・レクリエーションの拠点」	1. ホッケー競技場の整備と併せて、公園に「総合的なスポーツ・レクリエーションの拠点」としての一体感やつながりをもたらされるよう、他の公園内スポーツ施設との連携や公園全体の自然環境や景観に配慮した施設配置を検討
	2. ホッケー競技場内または公園内へ、賑わいをもたらす施設の設置を検討
○ 共通事項・その他	諸室の活用 ：大会時及び大会時以外において、多用途に活用できる諸室の広さ・配置などを検討